

新規・継続等	新規	分野	荒廃山地の復旧等の治山		事業番号	4	事業名	山地治山(予防治山)				
市町村名	松本市		ふりがな 箇所名	かみね 観峯		事業年度 (完了年度は見込み)	H23 年度 ~ H25 年度					
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	山腹工 0.80ha 落石予防網工1,800㎡、落石防止鋼工1,000㎡					H22年度末事業進捗率	0%				
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%				
	H23年度実施内容	山腹工0.20ha 落石予防網工600㎡					用地補償費ベース	-				
	年度	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降		
財源内訳	事業費計(千円)	99,300		0		0		33,800		99,300		
	国庫支出金	45,500		0		0		15,500		45,500		
	その他											
	県債	48,420		0		0		16,470		48,420		
	一般財源	5,380		0		0		1,830		5,380		
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			部 ランク	政策評価課 ランク	部 評価	政策評価課 評価	
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上		1~9戸		0戸		B	B	0	0
		保全対象公共施設	2箇所以上		1箇所		なし				3	3
		保全対象に弱者施設があるか	重要施設		一般施設		なし				0	0
		保全対象(保安林・林業用施設)	「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上		保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり		保安林率30%未満				7	7
		小計							10	10		
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去5年に1回以上		災害履歴地		なし		A	A	5	5
		交通遮断による地域経済などへの影響	大		中		小				5	5
		防災計画上の位置づけ	あり		なし						5	5
		小計							15	15		
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C2.0以上		B/C1.0以上2.0未満		B/C1.0未満		A	A	10	10
		早期発現度	3年未満		3年以上5年未満		5年以上				5	5
		流域の総合調整	あり		なし						0	0
		小計							15	15		
	緊急性 (25)	最寄の保全対象までの距離	50m未満		50m以上200m未満		200m以上		A	A	7	7
		地形、地質の状況	火山噴出物、花岡岩、第3紀層、破砕帯かつ地すべり地形		火山噴出物、花岡岩、第3紀層、破砕帯		その他				2	2
		平均深床勾配(平均山腹勾配)	10°以上(30°以上)		5°~10°未満(20~30°未満)		5°未満(20°未満)				3	3
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	なし		あり(概ね満砂)		あり(ポケットあり)				3	3
		危険地区危険度	Aランク		Bランク		Cランク				7	7
		小計							22	22		
計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い		市町村要望有り		特に要望ない		B	B	7	7	
	事業情報の共有	関係者以外にも周知		関係者中心に周知		特に周知していない				3	3	
	住民参加の状況	住民が直接参加		住民市町村意見を反映		住民意見反映していない				3	3	
	小計							13	13			
費用対効果(B/C)		2.08		評価の合計			A	75	A	75		
事業 周 辺 境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	県道松本和田線は、扉温泉への唯一のアクセス道路となっており、年間の交通量も多い。当該地区は、県道上部の山腹に施工された土留工施工箇所の基礎地盤の風化進行と細分化により局所的小崩壊を起こし、土留工が破損し、非常に不安定な状態にある。さらに下方の土留工はクラックが発生したり、底部が露出している。このため、早期に破損土留工を復旧し、県道の安全を確保する必要がある。										
	地域からの要望経緯	平成22年1月状況を確認後、地元からの対策工事の要望あり。										
	事業説明等の経緯	松本市と調整し、扉温泉の関係者に事業実施概要を説明した(平成22年12月)。今後、詳細設計等が確定した段階で、再度、扉温泉関係者への詳細な説明を実施する予定(平成23年6月予定)。										
	環境・景観への配慮項目	特になし。										
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。										
特記事項	特になし。											
地域の合意形成		全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他		
部意見	県道に近接した治山事業施工地であるが、施工後30年以上経過し、山腹面の風化が進行しており再崩落の恐れが高いことから、土留工や落石予防工等の対策工を追加実施し、再度災害の発生を防止する必要がある。					政策評価課意見		重要性が高く、緊急性も認められる。				